

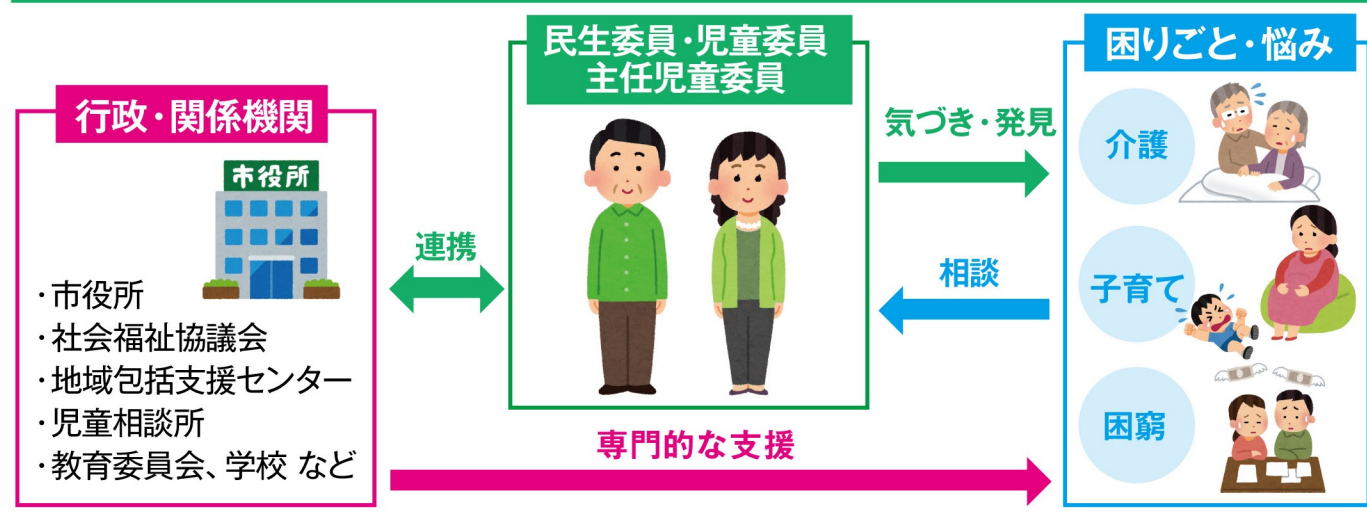
主任児童委員ってどんな人？

主任児童委員会 井上 直美

主任児童委員は、市内19地区にそれぞれ2名ずつ配置されています。私たちは地域担当の民生委員児童委員さんと協力して、地域の子どもたちを見守り困りごとをお持ちの子育て世代を応援する活動をしています。様々な困りごとに対しどの機関に繋がれば効果的か、毎月の例会で他地区の委員と意見交換しながら研修を重ねています。一人で抱え込まずに、私たちにお話ししてみませんか？秘密は必ず守りますので、安心してご相談ください。



民生委員・児童委員、主任児童委員はこんな活動をしています。



ご近所にこんな人いませんか？

SOS

かも…

新聞や郵便物が
たまっている

暗くなっても
電気がつかない

家に引きこもっていて
外出する姿を見ていない

子どもの表情が
乏しく元気がない

最近町内の行事で
見かけない

怒鳴り声や泣き声
叫び声がよく
聞こえる



「悪質商法・振り込め詐欺に 気をつけて！」

振り込め詐欺 **点検商法**
架空請求 **訪問販売**

依然、大垣市内でも高齢者を狙った事例が発生しております。「おかしいな?」「見覚えがないな?」など不審に思ったら、一人で悩まず「消費者ホットライン」188にお電話ください。

相談窓口

- 大垣市 消費生活相談室… TEL 0584-75-3371
- 消費者ホットライン …… **188**ダイヤル188の3ケタを押すだけ。ラクラク簡単・相談無料
- 不審な電話を受けた等 …… **緊急時は110番!**



「愛のともしび第43号」は、19地区のうち6地区と主任児童委員会の活動をご紹介します。コロナ禍により長く続いた制限も少しずつ緩和され、徐々に社会活動が再開されるとともに、様々な福祉課題も顕在化しているように思います。私たちの活動がより多くの皆様への手助けや励ましにつながり、地域のともしびとなるよう努めてまいります。



民生委員・児童委員の
マーク

民生委員・児童委員だより

愛のともしび

第43号 令和5年10月15日発行

編集兼発行者

大垣市民生・児童委員協議会
会長 廣瀬 實

大垣市丸の内 2-29
大垣市役所社会福祉課内

題字 大垣市長 石田 仁

民生委員・児童委員は、地域の身近な相談相手



子どもの 見守り



困り事の 相談・対応



研修・定例会の 実施など



ひとり暮らし 高齢者等への 訪問など



地域の 福祉活動行事 への参加協力

大垣市民生・児童委員協議会 常任幹事の紹介

会 長	廣瀬 實
副会長 (社会福祉部副会長)	河合 清彦
副会長 (児童福祉部会長)	井上 直美
副会長 (高齢福祉部副会長)	大石 教嗣
会 計 (児童福祉部副会長)	鈴木 由美子
監 事 (高齢福祉部会長)	浅野 勲
監 事 (社会福祉部会長)	天岡 みち

民生委員・児童委員とは

同じ地域で生活する住民の一員として、さまざまな生活上の困りごとや心配ごとに関する相談に応じ、必要な支援を受けられるよう、専門機関への「つなぎ役」としての役割を担うボランティアです。

大垣市では367人がそれぞれの担当地区で活動しています。

お住まいの地区を担当する民生委員・児童委員が分からないときは、事務局までお問い合わせください。

事務局：大垣市役所社会福祉課内 電話 0584-81-4111 (内線 2470)



民生委員・児童委員の活動紹介

第43号は市内19地区のうち 6地区の活動を紹介します！



北地区

認知症ひとり歩き見守り模擬訓練

後藤 慶子

道に迷っている人への声のかけ方や、見守りシール活用訓練を行いました。さりげなくゆっくり近づき声をかけます。持ち物や衣服に見守りシールが貼ってある場合は、スマホでQRコードを読み取り、本人の基本情報を知ったうえで、家族に居場所と健康状態をメールで知らせます。家族側とやり取りしながら、本人を安全に家族の元へ帰すことができるよう対応します。この訓練を通して地域の支援体制を作る必要性を強く感じました。



安井地区

活動を再開できました

國枝 典子

ひとり暮らし高齢者を囲む会や柿の木荘の奉仕活動など、コロナ禍でできなかった活動が少しずつではありますができるようになりました。この写真は、ひとり暮らし高齢者を囲む会の写真です。41名が出席され、出前講座の「健康について」に、アトラクションの「手品ショー」と、和やかな雰囲気の中久しぶりの再会で会話も弾み、あっという間に終了でした。出席して下さいました人々の笑顔、これから先もこの笑顔に出会えます様皆で頑張ってまいります。



日新地区

実りある連携づくりを目指して

佐竹 立子

昨年十二月の一斉改選で、活動内容を熟知している委員が、大幅に減少しました。地区民協の委員活動は、必要な知識の習得と、関連する組織の人々との連携が、大切な事だと考えています。そこで、市の出前講座を利用し、市職員、市社協職員との懇談の機会を持ち、さらに消防署や福祉施設の見学など社外活動も積極的に実施しています。今後も、日々の活動を支えて下さる方々と協働し、地域福祉の向上に努めていきたいと思っています。



江東地区

認知症ひとり歩き見守り模擬訓練

奥田 清輝

当民児協では、年2回研修会を設定して、地区の事例を基に話し合ったり、「民生委員・児童委員活動に関するガイドライン」の読み合わせや危機管理室の防災講話を聴いたりしています。7月は、高齢福祉課に依頼して「認知症ひとり歩き見守り模擬訓練」を実施しました。見守りシールを読み取り本人を保護者に引き渡すまでのスキルより、現地での認知症高齢者への対応に難しさを感じましたが、もしもの時は、きちんと対応したいと思います。



静里・綾里地区

コロナ禍の中でも百円喫茶

北澤 千佳恵

コロナ禍の中でも感染対策を徹底して、毎月第三日曜日に百円喫茶を開催しています。百円喫茶は、高齢者に限らず老若男女を問わず、家族や子供さんにも参加していただき、関心を持ってもらう中で見守りもでき声かけもできていくと思います。内容も工夫して、7月は手品ショーを開演していただきました。今後も多くの方々に参加していただけることを願うと同時に、また皆さんのお元気な姿にお会いできることを楽しみにしております。



三城地区

合同研修を活動に役立てる

小島 光則

三城地区では、毎年地区社会福祉推進協議会や福祉推進委員の方々と合同で研修会を実施しており、今年度は愛知県警察本部へお伺いし、防犯や交通安全についてお話を聞いてきました。今までにも、障がい者施設や防災施設をお訪ねするなど、知識の向上に努めてきました。これからも、地区社会福祉推進協議会や福祉推進委員の方々と親睦を深め、連携を密にして、研修会で得た知識を日々の活動に役立てていきたいと思っています。

